

広告

宇部興産中央病院医療最前線  
— シリーズ患者さんに寄り添う専門医療 ⑩ —

# これって目の病気？ 〜気になる眼の症状は 専門家にお任せを〜

眼科部長  
湧田真紀子



**専門分野** ●眼科一般 ●白内障 ●網膜硝子体(加齢黄斑変性)  
**認定医・専門医・指導医** ●日本眼科学会専門医  
**得意とする診療内容** ●眼科手術:白内障・翼状片・眼瞼疾患など  
●眼科疾患・網膜疾患に対する画像診断・レーザー治療(加齢黄斑変性・糖尿病網膜症・網膜血管障害など)・緑内障・ドライアイなど

あなたには気になる眼の症状はありますか？患者さんが来られたとき、私たち眼科スタッフはまず患者さんの症状をよく伺った上で、「このようない病気でいいか？」「こんな検査が必要ではないか？」と考えながら診療を進めていきます。症状は、診断への第一歩なのです。

眼の症状には大きく分けて、①見え方に関連した症状と、②目の感覚に関連した症状があります。

## ①見え方に関連した症状

「見えづらい」「ぼんやりする」はよく聞かれる症状です。病気でなくても年齢に伴う度数の変化によってピントが合わなくなり、見えづらくなる場合があります。このような場合は、眼鏡を作ったり度数を調整したりすることで見えるようになります。逆に、眼鏡を合わせようとしても視力が出ない時には、何らかの眼の病気が隠れている可能性があります。眼のレンズである水晶体が濁る『白内障』や視神経が弱って視野が欠けてしまう『緑内障』は、加齢に伴って頻度も高くなります。白内障では他にも「霞む」「まぶしい」「二重に見える」という症状が、緑内障では視野障害によって「部分的に見える」「くもり」という症状が出ることもあります。一方、『黄斑上膜』や『加齢黄斑変性』など網膜の中心である黄斑の病気で、「歪む」「見たい所が見えない」という症状が特徴的です。

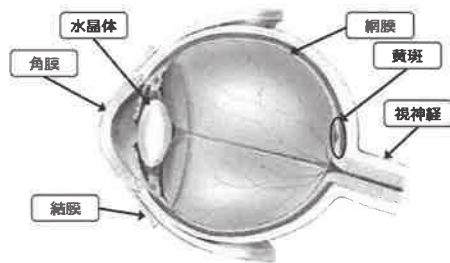
## ②目の感覚に関連した症状

目にゴミが入ったわけでもないのに「ちかちかごろごろする」「しょぼしょぼする」ときは、眼の表面が乾燥する『ドライ

アイ』かもしれません。似た症状は白目やまぶたの裏の結膜に炎症を起こす『結膜炎』でも起きることがあり、「目やにが出る」「痒い」などの症状も出ることがあります。

①と②の症状が同時に、例えば「目の痛み」とともに「見えづらさ」が出る病気もあります。角膜に感染を起こした『角膜潰瘍』、眼球内や視神経に炎症を起こす『ぶどう膜炎』や『視神経炎』などです。いずれも重症な場合には入院を含めた治療が必要になります。

当ではまる症状はありませんでしたか？ここにご紹介したのは、目の症状のごく一部です。そして大切なことは自己診断をしないこと。ご自分でも症状に気づいていたのに「年だから見えづらいのは当たり前」「白内障だと思っていた」と眼科を受診されず、かなり病状が進んだ状態で来られる方もおられます。加齢による変化には止められないものもありますが、もしかしたらその症状は病気によるもので、早めに治療した方がよいものかもしれません。気になる眼の症状があれば、まず一度お近くの眼科を受診してみましょう。



眼の構造

宇部興産中央病院は**地域医療支援病院**です

〒755-0151 山口県宇部市大字西岐波750番地  
地域連携室 ☎0836-51-9421